

令和 7 年度

事業報告書

自：令和 7 年 4 月 1 日

至：令和 8 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人あおい会

社会福祉法人あおい会

令和7年度事業報告

経営理念

『人が生き生きと 楽しい生活が送れるよう お手伝いすること』

スローガン

『すべては 利用者さんのために』

令和7年度は、「人が生き生きと楽しい生活が送れるようお手伝いすること」という法人理念のもと、利用者主体の支援の充実と持続可能な法人運営の両立に取り組みました。

支援においては、利用者の意思や希望を尊重し、ご本人の心身の状態に合わせ、それぞれの強みを生かした個別支援の実践に努めるとともに、地域とのつながりを大切にしながら、その人らしい生活の実現を支援いたしました。

法人運営においては、将来にわたり安定したサービス提供を継続するため、事業の見直しを行い、長年にわたり赤字が続いていた事業の廃止をいたしました。これにより、経営資源の適正配分を進め、財務基盤の健全化に努めております。

また、人材育成や職場環境の改善、業務の効率化にも取り組み、職員一人ひとりが専門性を発揮し、安心して働くことのできる体制づくりを検討してまいりました。

今後も、法人理念に基づき、地域から信頼される法人として、質の高い福祉サービスの提供と安定した法人経営に努めてまいります。

① 綿密な情報共有

定期的に管理者会議を開催し、各事業における状況を毎月のペースで共有している。

稼働率及び収支報告に加えて、実習や見学の受け入れ等外部との繋がりに関しても各事業異なる部分はあるが、つながりを作る発信や広報に関して意見を交換している。

② 意識改革と支援力向上

既存の職位階層の在り方も含め検討を行ってきたが、経営理念に基づき、利用者様にどのような良い関りができたかをしっかりと評価していくことで、本会が望む支援とはどのようなものかをより浸透できるよう、セオリーに縛られない評価法を引き続き検討していく。

③法人内研修構築

実施には至っていないが、②の検討内容と連動しながら内容の構築を今後も進めていく。

④広報と情報収集

障害福祉分野のみでなく、介護や保育分野との情報交換も行い、和歌山県での地域福祉の展開に関して視野を広げることができた。

行政機関とのやりとりの中で、こういった取り組みを行っていくか、またどのような協力が必要か意見を交換している。

SNS等を用いた情報発信は令和8年度本格的に対応を行っていく。

⑤AI・ICT・ロボット技術等の利用について

コストの関係上、今回は記録・会計ソフトの変更は見送り、更新を行うこととなった。現在使用しているソフト（福祉の森）の次回更新時までには今後の方向性を再検討する。

各研修会等でAI活用に関して情報収集を行っている。

⑥事業の整理

令和7年度10月末日を以て、放課後等デイサービス事業を廃止。

療育センター全体の赤字軽減。

既存の事業へ人的物的リソースを適正に配分し、各事業が安定して運営できるよう、情報共有を大切にし、理念の定着に努めている。

令和7年度事業報告

あおい学園

1. 定員と現員 (R7年度末)

定員 30名 現員 35名
利用延べ人数 7,809名
開園日数 235日

2. 入園児・卒園児数

入園児 12名(R7年4月) 1名(R7年5月) 1名(R8年1月)
卒園児 5名(R8年3月) 転園児 2名(R7年11月・R8年2月)

3. 月別在園児数(契約者数)

4月 35名・5月～10月 36名・11月～12月 35名・1月 36名・2月～3月 35名

4. 年齢別園児数(R7年度末)

1才	2才	3才	4才	5才	6才
0名	1名	0名	10名	19名	5名

5. 障害程度(R7年度末)

療育手帳	A1 0名	A2 6名	B1 9名	B2 10名	計 25名
------	-------	-------	-------	--------	-------

*精神3級の児 2名

6. 住所内訳(R7年度末)

和歌山市	35名
------	-----

7. 療育支援

発達に遅れのある就学前の幼児が、毎日通園して集団生活を通じて障害を克服して、できるかぎり社会生活に適応できるよう、療育支援を行い未発達の諸機能の発達促進に努めました。

8. 保健衛生

耳鼻科検診	5月27日
内科検診	5月20日、2月17日
歯科検診	6月17日、1月14日
検尿	2月5日・2月6日

9. 年間行事

4月	4/8 前期支援始まり 入園式
5月	親子遠足 児童福祉週間プレゼント（県福祉健康部長来園） 保護者会総会 内科検診 耳鼻科検診
6月	母親教室（就学のお話） 保護者会見学（和大付属特別支援学校・県立紀北支援学校・さくら支援学校・コスモス支援学校） 歯科検診
7月	あおい夏祭り・七夕祭り（2部制で実施） 自由参観 母親教室（茶話会）
8月	プールあそび（園庭） 夏休み（8/13～8/15）
9月	母親教室（卒園児保護者懇話） 個人懇談会 9/30 前期終了
10月	10/1 後期支援始まり 親子運動会 母親教室（発達障害専門医招致）
11月	自由参観 親子遠足（片男波公園） 母親教室（栄養士招致）
12月	親子クリスマス会（2部制で実施） 冬休み（12/28～1/5）
1月	1/5 支援始まり 親子制作教室 歯科検診
2月	節分行事 内科健診 日曜参観 母親教室（茶話会） 消防訓練
3月	ひなまつり行事 個人懇談会 お別れ遠足（さぎのせ公園） 卒園式 新入園児1日体験通園 3/31 後期終了
その他	毎月1回：身体測定・避難訓練・誕生日会・作業療法支援・ 音楽療法支援・絵本読み聞かせの会 随時：園外保育（市内の公園・郵便局・図書館・和歌山城）

10. 職員研修

人権・虐待・安全管理について等内部研修を実施しました。

11. 園児募集

昨年より、市内の児童発達支援センター5事業所の応募を市役所で受付け、できる限り、入園にもれる児童が出ないよう、市・保健センター・事業所等関係機関による入園調整会議を行い入園児を決定しています。

12. 園児の防災対策

随時避難訓練を行っています。

令和7年度 事業報告

社会福祉法人あおい会 あさも園

あおい会経営理念である「人が生き生きと楽しい生活を送るお手伝いをする」に基づいて、利用者さん本位のサービスの提供に努め、意思決定に配慮し個々に応じた日中活動の提供と、取り組みを展開して参りました。

また、「権利擁護」と「災害対策・安全管理」の徹底を掲げ、各委員会を中心として運営して参りました。

1. 事業内容

◇生活介護事業

令和8年3月末現在契約利用者数：27名

令和7年度延べ利用者数：5,617名 1日平均利用者数：20.9名

利用者さんの日常生活の自立に向けての支援(食事・排泄・整容・着脱衣等)の提供、また創作活動(軽運動・手話ソング・音楽鑑賞・創作・ビデオ鑑賞等及び生産活動(スポンジの袋詰め作業等)の機会を提供しました。そして外部講師を招いてのクラブ活動(お花・フラダンス・太鼓・ピアノ演奏等)についても展開し、豊かな生活が送れるよう支援して参りました。

◇就労継続支援B型事業

令和8年3月末現在契約利用者数：24名

令和7年度延べ利用者数：5,915名 1日平均利用者数：22名

やりがいを感じながら生産活動のできる内容(クッキー製造作業・スポンジの袋詰め作業)のものを提供し、生産する喜びとともに就労意欲の向上に努め、作業に自信と誇りが持てるよう支援して参りました。

そしてクッキー作業においては、積極的に各種の販売イベントにも出店することで、活気にもつながり販売の実績向上につながりました。

2. 人権擁護・虐待防止対策

人権擁護推進・虐待防止委員会により、定期的な会議(二カ月に一回)を開催、権利擁護と虐待の防止に向けての研究・討議を行ないました。

さらに、人権擁護・虐待防止に関する職員の知識・技術の向上を図るため、計画的な職員の外部研修参加及び伝達研修と内部研修の充実を図りました。

また、職員の権利侵害に関する自己点検を行うことで、職員個々の人権に対する意識の向上、対応策等について検討して参りました。

3. 地域との交流

紀伊地域の文化祭「紀伊文化まつり」や自治会主催の防災訓練等に、積極的に参加しています。また施設周辺の清掃活動や5月の水路清掃などにも協力して地域とのつながりを大切にしたい取り組みを行いました。

4. 実習生の受け入れ

地域貢献・地域交流の一環として、また、社会に開かれた事業所として、紀伊中学校の職場や意見実習・支援学校生徒の職場実習、看護学校や福祉専門学校学生の福祉現場実習などの受け入れ等積極的に実習生を受け入れて参りました。

5. 非常災害の予防と安全確保

毎月消防訓練・避難訓練(火災・地震・防犯)・不審者対応訓練を実施し、防災対策と利用者・職員の安全確保に努めました。

災害対策・安全管理対策推進委員会により、定期的な会議(二カ月に一回)を開催、災害対策・安全管理について研究討議・実践を行ってきました。

南海トラフ地震等の備えについては、県の危機管理・消防課による助言も参考にし

て、給食委託事業者と災害時の食料確保についての話し合いを行い、保存食に加えて米・根菜類・インスタント食品の備蓄を行っております。食料品以外の備え等の安全対策についても継続して取り組んで参ります。

また社会福祉施設は災害・感染症拡大等の非常時においても、「事業継続が求められる事業所」に位置づけられることから、損害を最小限に抑え事業の継続や早期復旧を図るための「事業継続計画書（BCP）」を作成し備えています。

6. 職員の資質の向上

各種研修会に参加、伝達研修等内部研修を実施し、職員の知識・技術の向上に努めて参りました。

7. 年間行事等

令和7年度

日 時	行 事 等
4月	お花見会 4/4 : ダイワロイネット昼食会・和歌山城散策
6月4日	保護者会総会（和歌山市北コミュニティセンター） 春季遠足：食べるたいせつミュージアム（和泉市）
6月～9月 26日	Pプラン希望別外出 （カラオケ・ボウリング・買物飲食等） 内科検診（塩崎医院院長）
10月10日 31日	あさも秋季運動会 （県障害児者サポートセンター体育館） 日帰りバス旅行：エキスポシティ・ニフレル（吹田市）
11月 2日 30日	紀伊文化祭り （絵画・創作物展示） 和歌山県ゆうあいスポーツフェスタ （ビッグホエール）
12月18日 19日 26日	内科検診（塩崎医院院長） クリスマス会 仕事納め
1月 5日 9日	仕事始め 初詣（府守神社） 戎参り（岩出大宮神社）
3月 8日	和歌山市社協祭り （和歌山市あいあいセンター／いあんいあん出店）

令和7年度太陽の丘事業報告

(1)施設の概要

- ① 所在地 和歌山県海南市上谷777-1
- ② 利用定員 生活介護：87名 短期入所(空床型)：6名
施設入所支援：70名
グループホームふあんふあん：8名
グループホームかつらぎ荘：4名
- ③ 居室構成 一人部屋(8) 二人部屋(7) 四人部屋(14) 計29室
- ④ 令和7年度の概要

* 太陽の丘は障害者総合福祉法サービス体系で、「全ては利用者さんのために」のスローガンのもと支援を提供しました。

令和7年度末の現在員は63名。

定員70名

	生活介護	施設入 所支援
利用者延べ人数	16,435	21,765
平均障害支援区分	5.55	5.62
前年度平均利用者数	62.3	59.7
区分5,6該当利用者割合	89%	92%

【障害支援区分ごとの集計】

	生活介護	施設入所支援
平均利用者数 区分6	41.9	41.5
平均利用者数 区分5	13.8	13.7
平均利用者数 区分4	5.6	4.6
平均利用者数 区分3	1.1	

現在員内訳 男性35名【40】 女性28名【30】※【 】通常人数
令和7年は基本的な感染対策を継続しながら事業を行っている。

退所/令和6年 9月 3日 男性1名

入所/令和7年 7月 1日 男性1名

※入院/精神疾患2名、体調不良、肺炎にて5名、その他2名。精神疾患

嚔性肺炎と高齢者といわれる年齢になってからが多いのですが、50代前後からです。入院される方は固定化しており、経年間口が広がっています。年3回入院を繰り返されている方1名。

(2) 施設方針

施設方針「リスクマネジメントの充実で、大切な利用者さんを守って、がっちり信頼関係を築き、家族と利用者さんに安心を提供する」に則り、「利用者さんの生命・諸権利を保障」し、なおかつ一人一人の個性を尊重した利用者さんが安心・安全に生き生きと楽しい生活が送れる高品質で多様なサービスを提供し、施設らしさを感じさせない家庭的なサービス提供を行いました。

(3) 生活支援

「生活の場」としての衣食住の環境の充実を図ると共に、体幹機能のメソッドとして日常生活を利用者さん本人自ら営むこと。これら全てが体幹機能のメソッドとなるわけではありません。

衰えは利用者さんの高齢化のみによってもたらされるものではなく、日常生活がどのように過ごされるよう「生活の場」が形成されているかが要因として大きくなるか小さくなるかを左右します。生活の場は諸権利の保障の場と言い換えてもいいでしょう。

脅かされる安全性に配慮しつつ安全安心に生活を支える場の提供を行えるように取り組みました。

また日常生活に必要な基本的な習慣、身辺処理・清掃活動に取り組み、習慣・積み重ね支援で形成された生活によって社会生活への適応性を育成し、地域生活に通じる支援に取り組みました。

(4) 日中活動

〔花 係〕

花係の所属利用者さんは、17名+GH2名(生活介護)

・活動内容

カラオケ・塗り絵・行事用飾り付け作り散歩・体育

利用者さんの体調や気持ちを見ながら参加してもらいました。

※令和7年2月よりリサイクル(空き缶)を中断しています。

上記にともない飲料業者に空き缶引き取ってもらっています。

〔鳥 係〕

鳥係の所属利用者さんは24名

・活動内容

運動・カラオケ・創作活動を中心に実施している。創作活動はぬりえ・描画・折り紙な

どをそれぞれ希望されるものを行っており、活動中に描いた絵やぬりえを行事の飾りつけに使わせてもらったりした。また作品を事務所前の掲示板に飾らせてもらっている。利用者さんに意見を出してもらいながら7グループに分けておやつを計画したが実施に至らず、気候の良い日には各係合同で体育を行うが年々活動する機会が減ってきている。

〔 宙 係 〕

宙係の所属利用者さんは、22名

・活動内容

カラオケや創作活動、YouTubeを見ながら体操をしたり、外気浴をしたり、10月にはおやつを作りフルーチェを食べました。

行事前にはわっか作りや色塗り等をし廊下やサンバレイにみんなで作成した作品を飾りました。行事前になるとみなさん積極的に作成してくれます。

宙係は移動が困難な方も多く、みんなが揃って活動することは難しいですが天気の良い日などはできるだけ外で外気浴したり、座ったままでもできる軽い運動をこれからも取り組んでいく。

※令和7年4月より、4係体制から、職員配置を日中活動3係体制へ移行し、当事者（利用者）へのサービス円滑を図る。

(5) 余暇活動支援

余暇活動として、その人らしく生活を営むためには、さまざまな人との関わりを育て深める必要があると思います。施設に閉じこもったままではなく、社会に出てたくさんの刺激を受けて頂けるサービスの提供をしております。

和歌山県知事選挙期日前投票にて6月1日住民センターにて希望者4名引率職員1名。

参議院議員通常選挙期日前投票にて7月15日住民センターにて希望者2名引率職員1名。

ワールド・ドリームサーカス和歌山公演10月7日イオンモール和歌山臨時駐車場特設会場にて希望者6名。引率職員3名にて白エスマ・タント2台。SS指定席1000円×9÷6にて1人1500円利用者さん負担。

シンガーソングライターの友近やっくん来園、笑顔コンサート11月14日食堂にて全利用者参加し生歌演奏、一緒に歌ったのしみでした。

令和7年度は野球観戦がチケットが取れず、令和8年度現在希望者を募っています。

(6) 買物外出・パーソナルプランについて

これまで多くの利用者さんに外出の機会を提供させて頂くこと念頭に取組んで

参りました。引き続き基本的感染対策を継続しながら、外出を年間を通じ行っています。

買物外出では年に2回以上PP外出では個々が希望する場所に沿った外出を年2回以上実施できるように行っています。

(7) 看護係

(検査)

6月 歯科検診(利用者)※井内歯科

9月 尿検査(利用者)※施設内検査

4月実施予定

健康診断(利用者+職員)※和歌山県民健診センター 検診車
(血液検査・胸部レントゲン撮影・尿検査)

(予防接種)

11月 インフルエンザ(おくクリニック)

適宜 肺炎球菌ワクチン(厚生HP)※接種対応年齢者はその都度

(感染予防)

手洗い・手指消毒・マスク…コロナ、ノロ、インフルエンザ等感染症の感染予防

(通院)

定期通院 1ヵ月～1年毎に定期的に受診

神経科48名・内科16名・外科5名・眼科8名・乳腺外科2名・皮膚科2名循環器内科1名・泌尿器科4名・整形外科3名
甲状腺内科1名

急変時に関してはその都度対応

左急性硬膜外血腫(手術) 1件(入院)

左転子部骨折(保存療法) 1件(入院)

左開放性大腿骨顆上骨折・大腿骨転子部骨折術後(手術) 1件(入院)

左鎖骨遠位端・骨幹部骨折術後(抜釘) 1件(入院)

尿路感染 1件(入院)

急性肺炎 2件(入院)

急性肺炎・低ナトリウム血症 1件(入院)

嘔吐症・低ナトリウム血症・肺炎 1件(入院)

褥瘡 1件(入院)

出血性膀胱炎・急性腎障害 1件(入院)

転倒(頭部裂傷・外傷含む) 数十件

発熱外来【急性胃腸炎等】 数十件

※この他随時必要性に応じ受診

〈訪問支援〉

入院中、週に二回面会に行き様子を伺い退院調整します。

健康診断を年度末である3月から、年度のはじめ4月に変更になっています。

感染症を持ち込まない為にも、一人一人の日々の感染症対策が大切であると考えています。

また、前年度同様肺炎や尿路感染、転倒による骨折・手術の為入院する方がいました。

骨折まで至らなくとも転倒による外傷の報告が多く、加齢による筋力低下が著名。

普段から咀嚼回数が少ない上に素飲みされるため、窒息・誤嚥、消化不良による便秘・低栄養による褥瘡発生、一人ひとりの状態に応じた適正な食事形態などの支援の必要性。

(8) 権利擁護会議

平成29年より内部研修、行き過ぎた支援（虐待）について年3回行いました。利用者さんは生活者であり、本人が日々出会う物事、人との関係を尊重した上での支援への取り組み。行き過ぎた支援、それは支援だろうか職員同士思い考えられる時間共有をテーマにしています。

義務化・従業者への研修実施・虐待防止のための対策を検討する委員会として虐待防止委員会を設置とともに、委員会での検討結果に従業者に周知徹底する・虐待の防止等のための責任者の設置、虐待防止委員会に求められる役割、虐待の未然防止や虐待事案発生時の検証や再発防止策等に向け進めております。

(9) 年間行事

家族の方々と楽しいひと時を過ごし、交流を深め家族のきずなを確認することと併せ地域の方々との交流を目的に各種の行事を開催しておりました。

基本的な感染予防を継続しながら年間行事を行っています。保護者の方にも参加いただき、楽しめる行事を利用者さん、職員で行いました。

(10) 食生活

栄養面だけではなく雰囲気・献立・盛り付け・食器・食事マナーなどに配慮し、月に数回メニューを複数用意し食事選択の自由も考えた食事を提供しました。

また平日の昼食時には、開始時間を調整し 出来立ての副食を温かいうちに味わってもらえる食事を提供しました。

給食会議を開催し、食事の形態に関わる協議を行い、豊かで潤いのある食事の向上に取り組みました。

(11) 防災管理体制

太陽の丘防災計画に則り次の各種訓練を実施し、利用者さん・職員の火災・自然災害に対する意識向上をめざし防災対策の充実強化に取り組みました。

職員及び、利用者さんの防災の意識と対応の向上を目的とし、月に1度、避難訓練を行った。また災害に対する研究では、南海トラフ地震を想定した討論会を行った。

太陽の丘はハザードマップでは洪水及び津波災害のエリアには指定されていないが、土砂災害のエリアに指定されて従って土砂災害が起こった場合の対策や避難場所の確保が重要課題となっている。そのため、年に1度、土砂災害を想定した避難訓練を行うことで意識と対応の向上を行っている。災害を想定した避難訓練を行うことで意識と対応の向上を行っている。災害を想定した避難訓練を行うことで意識と対応の向上を行っている。災害を想定した避難訓練を行うことで意識と対応の向上を行っている。

訓練内容／避難訓練(1回／月)

総合防災訓練(3月3日)

普通救命講習(6月18日)

防災設備器具の、維持点検の実施。(令和8年3月)

以上

令和7年度 療育センターAOI 事業報告

療育センターAOI 事業内容		
療育センターAOI 相談支援事業所	相談支援事業 (一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援)	
もなみ・リアン(従たる事業所) もなみ	生活介護事業 就労継続支援B型事業	多機能型

『利用者、保護者の方が、「明日も行こう」と思って頂ける事業所』になるよう、一人一人の思いにしっかり耳を傾け、利用者さんの体調、健康状態に配慮し、個別支援計画に沿って充実した活動が提供できる様、取り組みました。

《行事について》

“利用者の皆様に楽しんで頂ける内容を。と言う事で、少人数での実施安全面に配慮しながら、季節感を感じてもらえる様に工夫して実施しました。(別紙もなみ・リアン年間実施行事、活動内容を参照)

《感染症について》

10月末から11月中頃にかけて、もなみにて職員1名、利用者5名がインフルエンザに感染。風邪ひきなどでも、利用者さんで数名の方が肺炎や喘息を発症された方も居られました。

今後もしっかり感染対策をしつつ感染拡大の防止のための研修や取り組みを実施して行きます。

《防災について》

令和7年7月17日に気象警報が発令され、マニュアル通り(保護者等に連絡し、送迎を自粛させてもらうなど)対応するなどしました。大事に至らず良かったですが、警報解除のタイミングなどで、事業の開所等の判断に難しさを感じました。

また、南海トラフ地震に備え、地域や行政との連携を図るべく、自治会との関係(備蓄品や避難の協力体制)を強化しました。事業所中庭の活用を含めた防災および減災の取り組みについて検討しています。

また、義務化された『災害BCP(事業継続計画)』を作成し職員で共有しています。

《各種委員会、防犯訓練、研修会、各事業総括と計画》

令和8年2月28日(土)に毎年実施しているセンター全職員出席による研修・各委員会会議を実施。

午前中、各委員会の定期会議を実施。虐待防止委員会。感染症防止委員会、非常災害対策推進、身体拘束適正委員会など、各委員会を開催。(委員以外の職員は施設清掃)

委員会終了後、職員全員にて不審者対応訓練を実施(防犯訓練動画視聴しマニュアルを確認)。

午後より各事業の令和7年度の総括と令和8年度の年間計画会議を実施、終了後に各委員会会議及び各事業会議の内容を共有のため各事業代表に報告。その後に「権利擁護・虐待防止」内部研修会として、療育センターAOI相談員に「改めてコミュニケーションを考える」講義してもらって、職員一人一人の人権、虐待防止に関する知識、技術の向上を図りました。

《地域連携について》

地域連携を進めていく必要性がある中、自立支援協議会に積極的に参加し、行政や関係機関と連携を図り、地域福祉の貢献に努めました。

《各事業総括》

☆療育センターAOI(一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援)

令和7年度相談数実数 計画相談 974 件、委託相談 1982 件

現在、本事業は相談支援専門員(常勤職員 6 名)にて運営しています。

令和 7 年度において、相談支援事業を円滑に進めながら、各事業所と連携し、「利用者一人ひとりの想い」に丁寧に耳を傾けることを大切に、日々の支援に取り組んできました。

法人内外の利用者および地域の障害児・者(ご家族を含む)から、多様なご相談を受ける中で、それぞれの悩みや生きづらさに寄り添いながら、環境調整支援や医療的支援における通院同行、各種制度利用に向けた申請支援等も行ってきました。

また行政機関から委託事業を受託し、海南海草圏域における困難事例へも関係機関と連携しながら対応を重ねています。さらに「誰もが住みやすい地域づくり」の実現に向けた協議会運営を行うとともに、研修企画や他事業所における困難ケースへの協働支援にも取り組んでいます。

こうした積み重ねの中で、相談件数は年々増加しており、サービス等利用計画およびモニタリング作成業務が年間約 900 件、委託相談は延べ約 1,900 件と、多くのご相談へ対応してきました。

【課題】

相談件数の増加に伴い、相談支援専門員一人あたりの業務負担が大きくなっており、支援の質を維持しながら継続的に対応していくための体制整備が求められています。また困難事例の増加により、各関係機関とのより一層の連携強化も必要となっています。

【次年度の方向性】

相談支援の「質向上」を図りながら、職員間の情報共有や法人内での研修を充実させ「切れ目のない支援」の継続に努めます。また行政機関や他機関との連携を一層深め「地域全体で支える支援体制」の構築に取り組んでいきます。

☆もなみ(生活介護) 定員14名

契約利用者19名(R8年3月末現在) 平均利用者数13.3人

延べ利用者数 2499人 平均障害程度区分 4.86

サービス管理責任者1名(常勤兼務) 生活支援員4名(常勤専従)

利用者さん1人1人に安心して過ごして頂ける空間に”と配慮することで、外出や集団活動の幅を少しずつ広げることが出来、行事や生産活動(ブラシ内職作業)、余暇活動など楽しんで過ごして頂くことが出来ました。当事業は重度の方の利用割合が多く、障害による特性も様々であることから対応に苦慮する場面が多々ありますが、そんな中、利用者さんの見通しがつくようにと、絵や写真等を使い、視覚的配慮を行うなどして、利用者さん1人1人に安心して過ごして頂ける時間を提供させていただきました。

利用者さんの利用状況については、グループホームの短期入所を利用する方が増えてきており(週末にご利用)、月曜日と金曜日に休まれるケースが多くなっています。

実習生(高等部2年)を1名受け入れています。

作業工賃:一人当たり月額平均275円(個人最高平均金額524円)

※令和7年度年間実施行事等は別紙をご覧ください。

☆リアン(重症心身障害者受け入れに特化、もなみ生活介護の従たる事業所) 定員6名

契約利用者10名(R8年3月末現在) 平均利用者数4.6人

延べ利用者数 923人 平均障害程度区分 6.00

サービス管理責任者1名(常勤兼務) 看護師2名(常勤専従2名)

生活支援員1名(常勤専従1名)

当事業を利用されている方は、主に、重度の身体・知的の障害をお持ちの方となり、医療ケアが必要な方も対象に受け入れる事業であるため、常に表情や体調の変化には配慮が必要でした。

体調不良や治療のためなどにより、入院された方もおられた事から利用率は

若干低くなってしまいました。

活動は、スヌーズレンの理念を参考にした感覚刺激(エアートランポリン、アロマセラピー等)、散歩、創作活動、ゲーム、また、季節感ある行事や調理しそれを食し体験する等、充実した日々を過ごして頂けるよう取り組みました。
※令和7年度年間実施行事等は別紙をご覧ください。

☆もなみ(就労継続支援B型) 定員10名

契約利用者14名(R8年3月末現在) 平均利用者数11.9人

延べ利用者数 2865人 障害年金1級受給者割合 44%

サービス管理責任者1名(常勤兼務) 職業指導員1名(常勤専従)

生活支援員1名(常勤専従1名) 目標工賃達成指導員1名(常勤専従)

4月、6月と新規1名の利用者さんを迎え、現在の契約者数は14名です。

来年度、利用希望者の見学者2名、実習生(高2)2名をそれぞれ受け入れています。

生産活動はクッキー(製造・販売)事業、雑貨(内職)事業を実施、令和7年度の一人当たりの平均工賃は、4,726円で、前年度より300円ほど減っていますが、原材料等の高騰はあり、内容量の調整等の工夫にて収益は維持しましたが、利用が増えることで一人当たりの工賃が減ってしまいました。

活動は、利用者の交流や気分転換を兼ねての外出や食べたいものをテイクアウトしたり、外出先や内容を決めたりすることで、“次は何を食べようか”、“次はどの店にしようか”ととても楽しみにされていました。

※令和7年度年間実施行事等は別紙をご覧ください。

令和7年度 もなみ・リアン年間実施行事・活動内容

別紙

月	実施内容	実施日時	実施場所	実施内容	実施日時	実施場所
4月	避難訓練	4日	花見(ウオーキング)センター中庭桜	お花見パーティー	3日、4日	
		避難訓練	8日	避難訓練	22日	
5月	内科検診	15日	海南医療センター販売月 合同パーベキュー	クッキング(綿菓子)	25日、26日	
		合同土砂災害避難訓練(防災センターへ)	19日			
6月	お楽しみランチ(王将)	26日		重里Dr. 診察	18日、27日	
		合同防災訓練(通報訓練・火災・津波避難訓練)	10日			
7月	おやつカフェ(トマオニ)	14日、15日、16日 17日、18日、22日	海南医療センター販売月 温山荘夏遊びクッキー販売	七夕会	3日	
		避難訓練	8日	避難訓練	8日	
8月	お楽しみランチ(王将)	25日		夏祭り	14日、15日、16日	
		避難訓練	12日	避難訓練	28日	
9月	お楽しみランチ(ノアハウス)	26日	海南医療センター販売月	お月見会	17日	
		避難訓練	12日	避難訓練	9日	
10月	紅葉狩り(野上ふれあい公園)	14日	海南医療センター販売月	遠足(和歌山城動物園)	24~30日	
		避難訓練	14日	クリスマス制作	26~28日	
11月	キッチンあすかテイクアウト弁当	11日	実習1名受け入れ(紀北 "	クリスマス会(国療さん)	25日	
		避難訓練	11日	クリスマス会(国療さん)	25日	
12月	クリスマス会(ケーキ作り)	25日	忘年会(銀鈴よりテイクアウト)	クリスマス会(国療さん)	25日	
		避難訓練	9日	クリスマス会(国療さん)	25日	
		通報・津波避難訓練	16日			
1月	初詣 8日、9日、14日 お楽しみランチ(C-101)	30日	海南医療センター販売月 初詣 実習1名受け入れ(紀北 "	新春大会 成人式	5~14日 14日	
		避難訓練	13日	避難訓練	23日	
2月	おやつカフェ(トマオニ)	19日~27日	実習(紀北支援学校高1生)	節分	3日	
		避難訓練	10日	避難訓練	10日	
3月	外食(びっくりドンキー)	5日、9日、10日	海南医療センター販売月 外食(王将) 3日、14日(モス)	ひな祭り	3日	
		避難訓練	10日	避難訓練	23日	